

2018-01 2018.01.16

2018 年 1 月 議事録

平成 30 年 1 月 16 日 AM10:00~12:00 (火) 東児童館調理室

出席者：山口、長澤、長澤、神田、川崎、半田、山田、笹澤、鈴木

配布資料；笹澤さんより 会議メモ 平成 29 年春に開催された真瀬地域の「模擬訓練の流れ」

山口さんより「きずなネットワーク」の現段階最終原稿 「きずなネットワーク運営協議会会則」(案)

長澤さんより「きずなネットワーク運営協議会会則」(案)

議題

1. 認知症声かけ訓練について

2. きずなネットワーク運営協議会会則・構成について

1. 認知症声かけ訓練について

・今回は考えられる限り手当てをしての区長さん or 代理人の出席を願ったが稲荷前 1・2 区は出席を得られなかった。

・この訓練においてのこちらにとってのリスク&メリットを喧々諤々尽くしてみたが、本日の出席者にとっては、主催者側へいくつかの質問・確認をしたのちにその点がクリアできたら断る理由が無い。

⇒決して地域社会がまとまっている地域ではない。故に準備段階での困難・結果の失敗が考えられるが、その点の了承はあるのか？

⇒書類を作成してあとはよろしく のパターンではないのか？

これらのことを 1 月 19 日の説明会で笹澤 & 山田が聞いてくる。納得したら GO

2. きずなネットワーク運営協議会会則・構成について

・事前に長澤さんから会則案が各戸に配布され皆読んできた。

・本日山口さんからさらに修正を加えられた会則案が配られた。

@主に役員及び任務についての項目に以下のような意見が出た。

山田さんから「まだ、会則の必要な団体とは思えない。これから実活動に伴い各人温めておいてしかるべき時期に文書化してもいいのでは？」

長澤さんから「ボランティアでも基盤のない組織、団体ではなんでも OK。なし崩しになってしまう。」

山口さんからは「自分は HP 担当。渉外の得意な長澤さんを副会長に」

長澤さんから「副会長はそんなに何人もいない。自分は渉外にしてほしい」

⇒この件も対外的に関与のある（予算の出る）社協に予算をもらうにはどの程度組織づくりをしたらよいのか？を 1 月 19 日に確認の後 来月の会議にて報告。それから協議することになった。

次回は 2 月 20 日 (火) AM10:00~児童館調理室にて